

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公開番号】特開 2004-239422 (P2004-239422A)
 【公開日】平成 16 年 8 月 26 日 (2004.8.26)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-033
 【出願番号】特願 2003-32281 (P2003-32281)
 【国際特許分類】

F 1 6 K 11/22 (2006.01)
B 0 1 D 35/04 (2006.01)
C 0 2 F 1/28 (2006.01)
C 0 2 F 1/44 (2006.01)

【F I】

F 1 6 K 11/22 Z
 B 0 1 D 35/04
 C 0 2 F 1/28 R
 C 0 2 F 1/44 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 7 日 (2006.2.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数流路の開閉の切換えを、回転軸 (21) により駆動される弁体 (9) によって行う切換弁であって、該回転軸 (21) と該弁体 (9) とが 2 個以上かつ同数個配されている切換弁。

【請求項 2】 前記回転軸 (21) の回転を、ボタン (7) の押し込み操作によって行う請求項 1 に記載の切換弁。

【請求項 3】 前記ボタン (7) の押し込み方向が概略鉛直方向である請求項 2 に記載の切換弁。

【請求項 4】 前記ボタン (7) は、回動支点部 (71) を有し、該回動支点部 (71) を中心にして移動する請求項 2 又は 3 に記載の切換弁。

【請求項 5】 切換弁本体 (5) に、前記弁体 (9) と、前記回転軸 (21) と、アーム (25) と、前記ボタン (7) とがそれぞれ同数個配され、

該アーム (25) は、前記ボタン (7) の動きを前記回転軸 (21) の回転運動に変換するものであり、

前記ボタン (7) のうち、一つのボタン (7) が押し込まれた際に、その前に押し込まれていたボタン (7) の位置を元に戻す復元機構が配された請求項 2 ~ 4 のいずれか一項に記載の切換弁。

【請求項 6】 前記アーム (25) の一端には U 字状突起 (23) が設けられ、他端には棒状突起 (24) が設けられており、

該 U 字状突起 (23) は、前記回転軸 (21) に設けられた回転カム (22) に係合し、該棒状突起 (24) は、前記ボタン (7) に設けられた U 字状突起 (71) に係合する請求項 5 に記載の切換弁。

【請求項 7】 前記復元機構は、弾性体 (30) によって付勢された係止棒 (32) からなり、

該係止棒（３２）は、前記棒状突起（２４）の移動により上下し、前記棒状突起（２４）を係止又は開放するものである請求項 6 に記載の切換弁。

【請求項 8】 前記弁体（９）及び前記回転軸（２１）の数が３個であり、鉛直方向から見た際に、蛇口接続口（２a）の中心部を含む三角形の頂点にそれぞれ配されている請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の切換弁。

【請求項 9】 前記切換弁本体（５）の、前記ボタン（７）の突出側とは反対側で、かつ前記ボタン（７）と相対する位置に、平面部（４５）を設けた請求項 5 ～ 8 のいずれか一項に記載の切換弁。

【請求項 10】 請求項 1 ～ 9 に記載の切換弁によって流路の切換を行う浄水器。